



事業計画及び成長可能性に関する説明資料

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社(証券コード:7707)

2025年9月29日

PSS会社概要（2025年6月末現在）



会社名	<u>プレジジョン・システム・サイエンス株式会社</u> <u>(英語表記: Precision System Science Co., Ltd.) ※本資料内での記載: PSS</u>
所在地	<u>千葉県松戸市上本郷88番地</u>
代表者	<u>杉山 悠</u>
資本金	<u>100百万円</u>
従業員数	<u>151名(除く、派遣社員・パートタイマー等)</u>
事業内容	<u>バイオ(ヘルスケア)分野における検査・診断システムの開発及び製造販売等</u> <u>(装置及びソフトウェア・試薬・消耗品・メンテナンス・受託検査等)</u>
連結子会社	<u>Precision System Science Europe GmbH(独) ※同: PSSE</u> <u>エヌピーエス株式会社(秋田県大館市) ※同: NPS、10月より連結対象から徐外)</u>
営業所	<u>大館試薬センター(秋田県大館市) ※同: ORC</u> <u>PSSつくばラボラトリー</u>

● 事業ドメイン

ヘルスケア分野向けに、主に遺伝子検査用の検体前処理装置、臨床検査装置と、それらに付随する試薬・消耗品を開発・製造・販売。ODM製品と自社ブランド製品をグローバル展開。製造する製品はすべて日本製。

● ミッション(企業理念)

『当社は独自の基盤技術を継続的に創出し、誰にでも使いやすく高精度な検査システムを提供することで、病気の早期発見と予防に貢献し、すべての人々が健康で自分らしく生きられる社会の実現を目指します。』

● ビジョン

煩雑なマニュアル作業を要する核酸抽出等の検査工程を一貫して全自動化し、誰もが容易に利用できる検査環境を実現する。

● バリュー

- ✓ 「装置 × 試薬 × 消耗品」のプラットフォーム提供によるリカーリングモデルの確立
- ✓ お客様の「使いやすさを最大化すること」を使命とし、ユーザビリティと信頼性を両立
- ✓ ODMと自社ブランド販売を両立し、幅広い顧客ニーズに対応
- ✓ 企画から量産まで「ワンストップ」で医療機器の開発を請負、ISO13485、ISO9001取得
- ✓ グローバル市場へ高品質の日本製品・サービスを提供
- ✓ 独自技術「Magtration®」を核に、新たな技術を継続的に創出

1. ビジネスモデル

1-1. ビジネスモデル / PSSプラットフォームの提案



全自動の遺伝子検査オープンシステム+ユニバーサル抽出試薬・専用消耗品



PSSプラットフォームとは？



多様な試薬メーカーのPCR試薬

多様なサンプルに対応する、
ユニバーサル核酸抽出試薬・専用消耗品を使用した、
全自動の核酸抽出+遺伝子検査システム



- プラットフォーム提供
- 代理店としてPCR試薬を販売

PSSプラットフォーム

相互提携による親和性

PCR試薬

提携PCR試薬企業各社

- ELITech社
- 日立ハイテク社
- アークレイ社
- SMD社(Sysmex Europe社) 他

➤ PSSプラットフォームを使用するパートナーとの相互販売提携

1-2. ビジネスモデル / PSSプラットフォームを核としたリカーリングモデル



PSSプラットフォーム

PSSプラットフォームが売上の約7割を占める安定収益源



核酸抽出試薬
(自社製)



PCR試薬
(パートナー企業製)

1. PSS自社ブランド

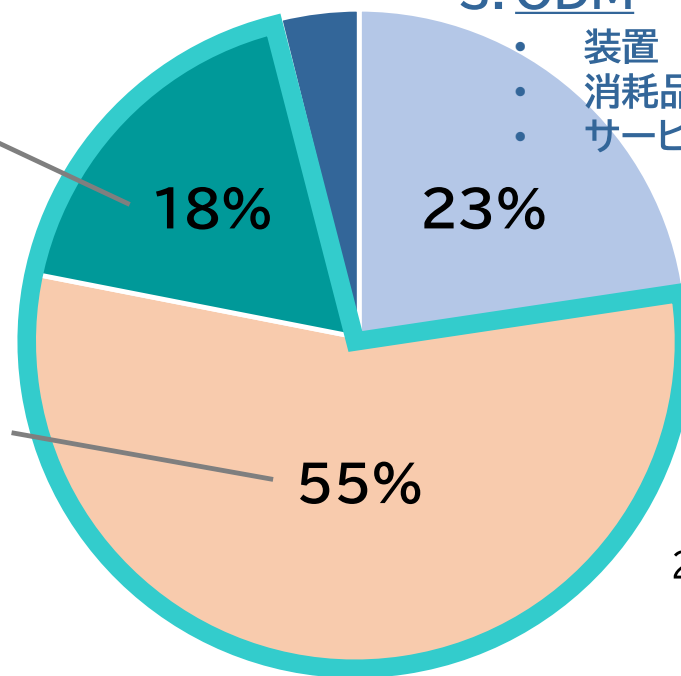
- 装置
- 試薬(核酸抽出、PCR)
- 消耗品
- サービスパーツ
- メンテナンス

2. ODM/PSSプラットフォーム (主要顧客:ELITech社等)

- 装置
- 試薬(核酸抽出)
- 消耗品
- サービスパーツ

3. ODM

- 装置
- 消耗品
- サービスパーツ



2025年6月期
売上構成比

- 自社試薬を使用する「PSSプラットフォーム」リカーリングによるストックビジネスに注力
- 自社試薬の使用量が増えることで試薬工場の稼働率向上とコストを低減
- PCR試薬企業とのパートナーシップにより、PCR試薬も販売

1-3. 製品・サービス / 装置



- 当社は、医療機関・研究機関向けに、遺伝子検査をはじめとする多様な検査工程を自動化する装置・前処理試薬・消耗品をパッケージ化した「**PSSプラットフォーム**」を提供しています。本プラットフォームにより、検査業務の簡易化・標準化を支援します。
- 「**magLEADシリーズ**」は、当社が独自に開発した磁性粒子分離技術「**Magtration®機構**」を搭載する全自動核酸抽出装置です。専用のユニバーサル抽出試薬と組み合わせることで、多様な生体サンプル(血液・尿・便・喀痰など)から、高純度なDNAやRNA等の核酸を簡便かつ高効率に抽出・精製できます。
- 「**geneLEADシリーズ**」は、核酸抽出からリアルタイムPCRまでをワンステップで自動化した、コンパクトな全自動遺伝子検査システムです。検体と試薬をセットし、画面操作するだけで、高精度かつ迅速にPCR検査を完了できます。



1-4. 製品・サービス / ユニバーサル核酸抽出試薬



コンセプト

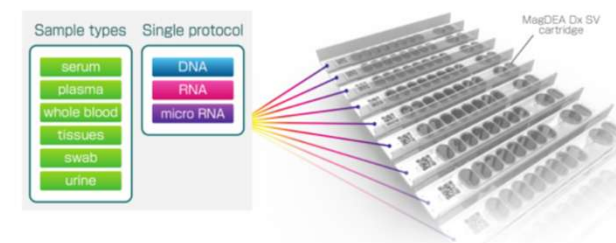
- ユニバーサルデザイン→「様々なサンプルからの抽出を同時に実行可能」
- “Ready to use, Easy to use”→「装置に載せるだけ」

Sample matrix	PSS - magLEADシリーズ - geneLEADシリーズ	競合A社 - 抽出装置A	競合B社 - 抽出装置B	競合C社 - 抽出装置C
Human whole blood	MagDEA Dx SV PSS) - 多様なサンプル種で使用可能 - 多様な核酸をまとめて抽出 - 全装置共通で使用可能 - 全ての試薬は自社工場(ORC)製	○	○	○
Serum/Plasma			○	○
Urine			○	×
Swab			○	○
Liquid-base cytology			○	○
Culture cells			○	○
Tissue (*)		○	○	○
CSF		×	○	×
Saliva		○	○	○
Sputum (*)		×	×	○
Stool (Virus) (*)		○	○	○
Stool (Bacteria) (*)		○	×	○
FFPE (*)		○	○	○



MagDEA Dx chemistry

Universal design Batch processing



他社)

- 他社試薬はサンプル種毎に別の抽出試薬を購入しなければならない
- 検体によっては、対応する試薬がない場合も

1-5. 製品・サービス / サービスパーツ・メンテナンス



- 装置の定期メンテナンス及び故障時の交換部品を販売しており、装置の販売数に比例して相乗的に販売数が増えていきます。各スペアパーツはユニット化され個別に包装されることで、交換が容易であることが特徴です。

ODMパートナー 販売代理店



故障
サービスパーツ注文

修理
サービスパーツ販売



1-6. 製品・サービス / ODM事業



医療機器の「企画→設計→試作→量産」まで「ワンストップ」で請負

- 在籍エンジニア約30名:メカ設計、エレキ設計、ソフトウェア設計、試薬設計(遺伝子、糖鎖)、消耗品設計
- ORC工場製造員約30名:試薬製造、消耗品製造、品質管理、生産技術
- 国内、海外の各種要求規格に対応

ODM製品実績

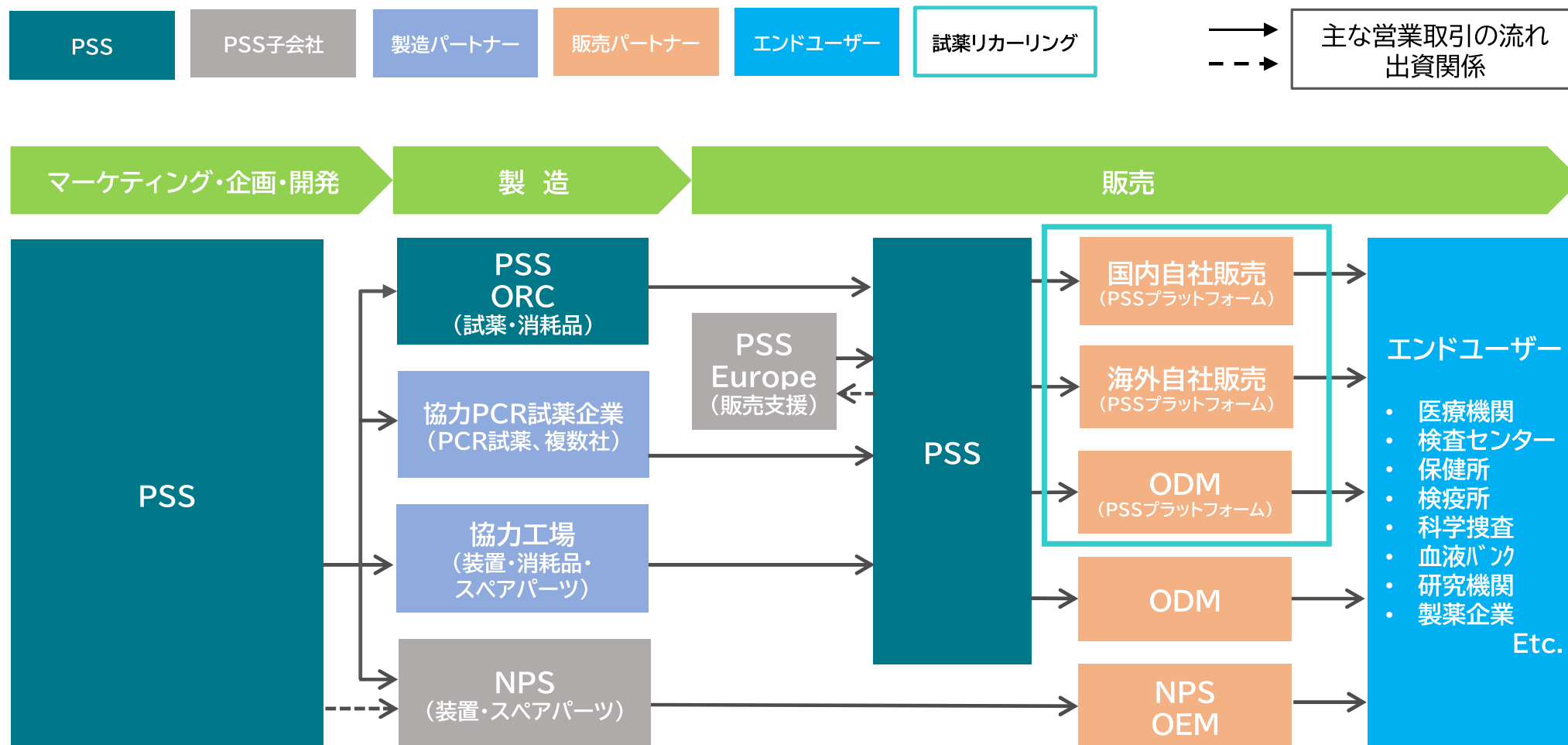
- 核酸抽出装置 累計10,000台以上
- 全自動遺伝子検査装置 累計1,500台以上
- 化学発光酵素免疫測定装置 累計5,000台以上
- その他、各種検査・分注装置

*装置の製造は子会社のNPSやパートナーの協力工場に委託しています。

主要ODMパートナー



1-7. PSSのバリューチェーン



2. 市場環境等

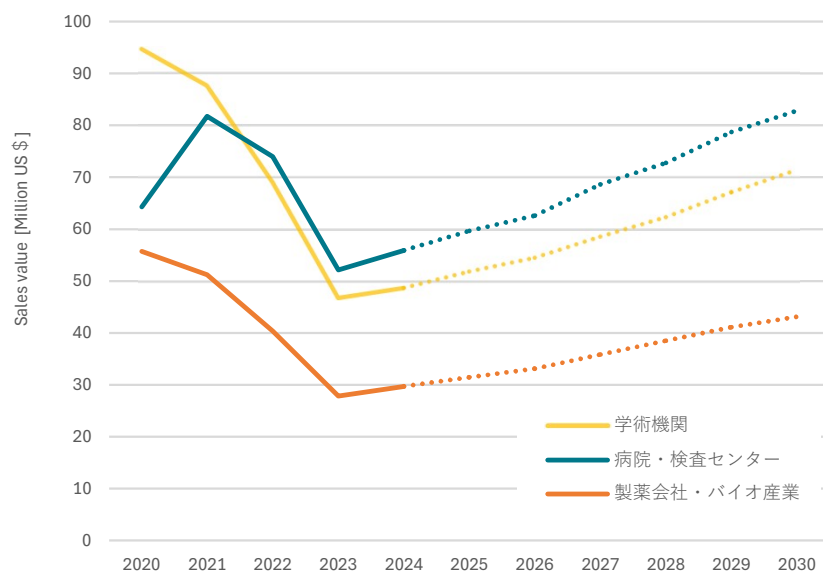
2-1. 磁性粒子式核酸抽出キットの市場動向



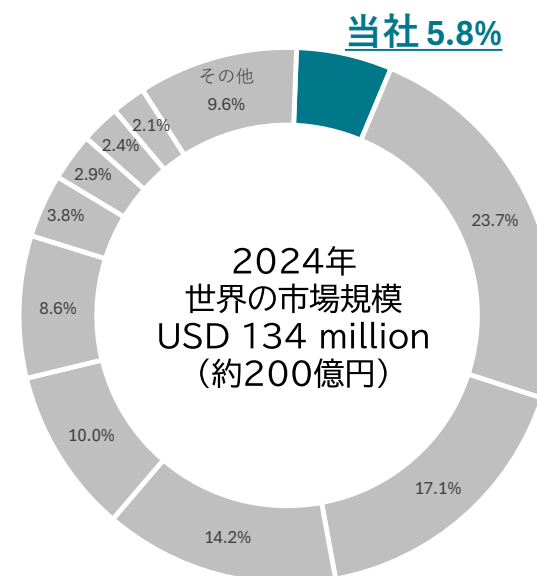
磁性粒子核酸抽出市場はコロナ終息後も成長の見通し

- 当社はODM事業に加え、当社独自の磁性粒子を用いた核酸抽出試薬を含むシステムとしてPSSプラットフォームを提案
- 核酸抽出市場は、コロナ禍の終息に伴い臨床検査市場を中心に世界的に縮小した一方で、コロナ検査以外の遺伝子検査需要が増加したことで、2023年以降から再び拡大傾向、発展が続く見通し
- 同市場で欧米の大手5社が市場のシェア73.5%シェア占める中、当社は5.8%(2024年)
- 磁性粒子による核酸抽出は全行程を自動化することで、従来のマニュアル法と比較して約40%の時間節約が可能(当社システムは30分以内で精製可能)

世界の磁性粒子核酸精製市場売上推移と予測(顧客種別)



世界の磁性粒子核酸精製市場売上シェア Top 10 (2024年)



出典: QYResearch, Magnetic Bead Purification Kits - Global Market Share and Ranking, Overall Sales and Demand Forecast 2025-2031

2-2. IgA腎症検査の市場環境



当社技術を用いた尿検査によるIgA腎症の早期発見

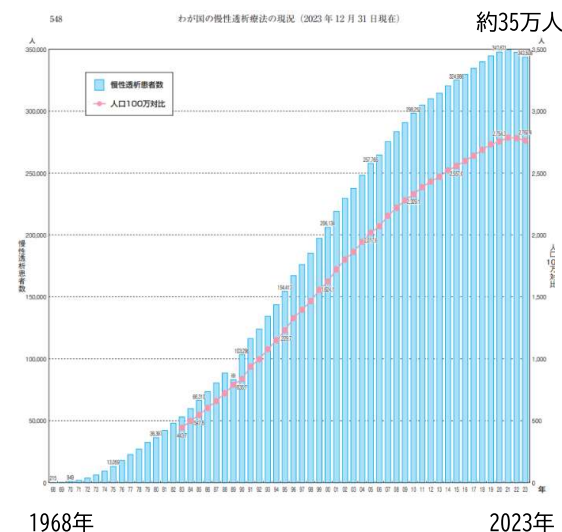
- 当社は保有技術によりIgA腎症早期発見に貢献する簡易検査手法を開発中

IgA腎症(指定難病)

- 体内で生成される抗体IgAが腎臓の糸球体(尿を作る組織)に沈着し炎症を起こす疾患(その真の原因は不明)
- 蛋白尿や血尿を生じ、放置すると重症化し透析治療が必要
- 日本の透析患者数は年間約34万人と多く、透析治療の医療費は約1.6兆円と高額

IgA腎症の簡易検査必要性

- IgA腎症の治療判断には、患者負担、費用負担の高い組織検査(腎生検)が必要
→尿を用いた検査によって腎生検に至る負担を軽減
- 日本では、慢性糸球体腎炎透析患者数約8.7万人の内、「約30%(2.5万人)」がIgA腎症起因
→患者数が多い
- 世界の大手、中堅製薬企業が治療薬を開発中(透析治療に至る前の投薬が必要)
→重症化に至る前に救われる患者が増え、検査意義が高い



出典：わが国の慢性透析療法の現況 (日本透析医学会、2023年12月31日)
令和4年度 国民医療費の概況 (厚生労働省)

3. 競争力の源泉

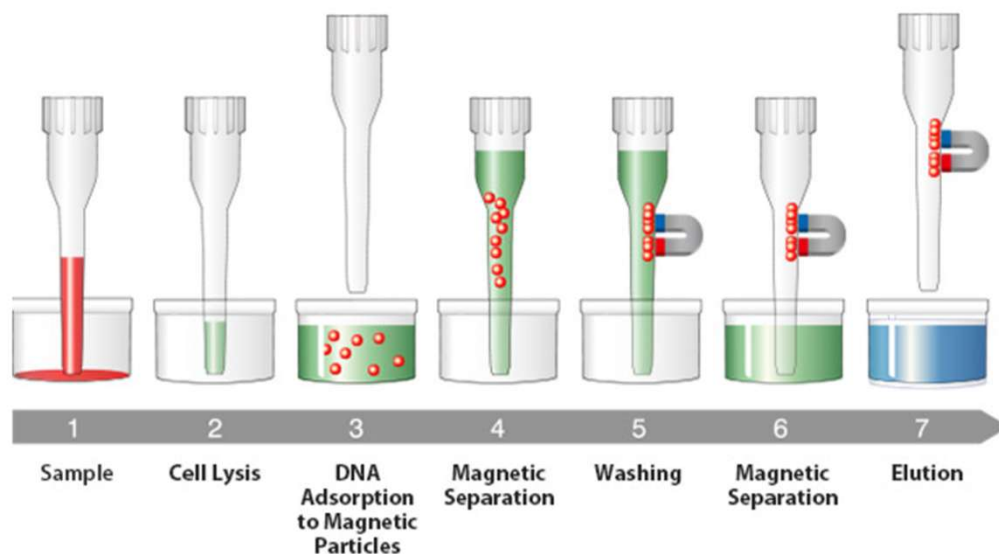
3-1. 独自の磁性粒子核酸抽出法「Magtration® technology」



PSSが発明した、磁性粒子核酸抽出法のGold Standard

Magtration®の原理

(JP Patent: No.3115501 / EN Patent: No. 5,702,950 / EU Patent: No.687501)



ピペットチップ内壁で
磁性粒子を捕獲

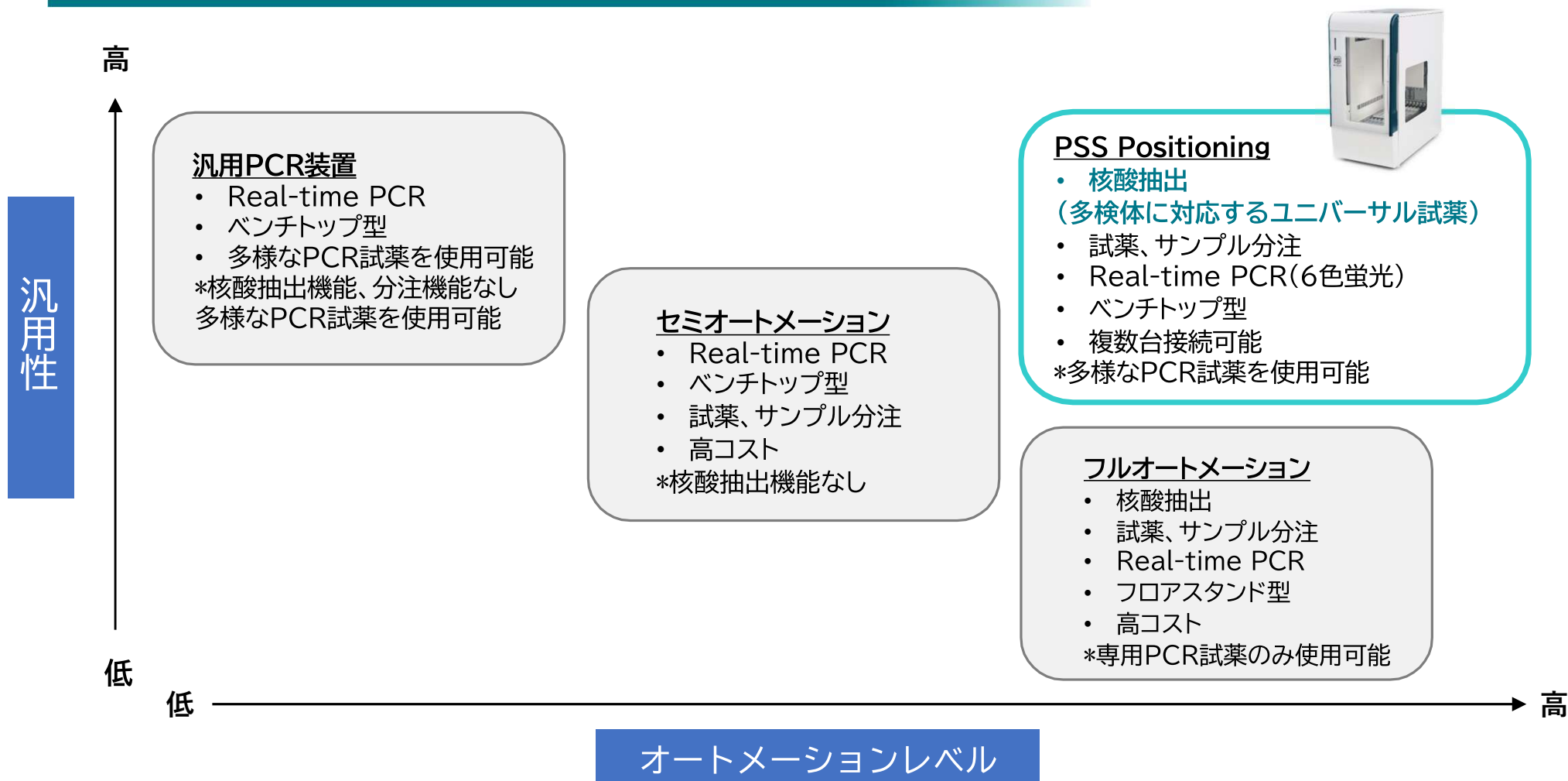
➤ **Magtration® technology**はPSSが発明した磁性粒子をコントロールするための技術で、累計10,000台以上の自社ブランド、ODM製品販売実績をもつ、「PSSのコアコンピタンス」です

➤ 本技術は磁性粒子を用いた「多様なアプリケーションの自動化ニーズ」を実現することができます

3-2. 遺伝子検査システムの独自性



ベンチトップ+フルオート+オープンシステム+ユニバーサル抽出試薬



3-3. PSSプラットフォームの拡大



プラットフォーム増加によるリカーリングモデルを推進



➤ 2016年~2025年のPSSプラットフォームの販売実績は、
「累計販売実績2,900台以上」

*PSSプラットフォームは、magLEADシリーズ、geneLEADシリーズ、ELITech社向けODM製品を対象としています。

3-4. 新PSSプラットフォームの将来性(糖鎖事業)



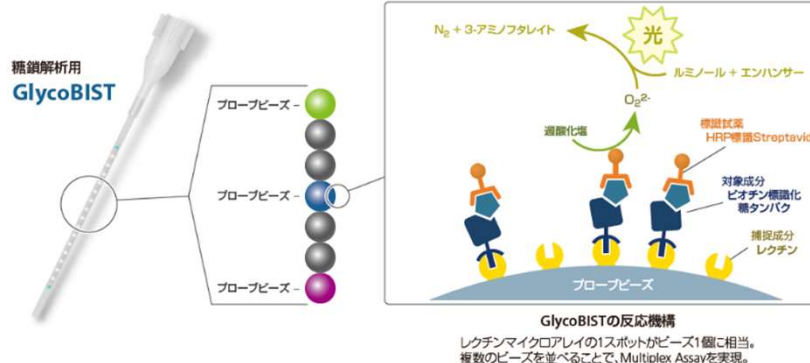
PSSの自動化技術と糖鎖研究・解析技術の融合

なぜ**糖鎖**か — 「糖鎖研究が進み診断や治療への応用が期待されるなか、新たな簡易検出技術が求められる」

糖鎖:糖が連なった化合物で生体内では他の生体関連物質と結合し体内で多種多様な機能をもたらす

- 2012年 国立研究開発法人 産業技術総合研究所(以下、産総研)と**糖鎖解析分野**で共同研究を開始
- 2019年9月 産総研と当社**BIST技術**を用いた糖鎖解析に関する論文発表 BIST技術:生体試料から目的分子を単離、検出する技術
- 2022年11月 **つくばラボラトリー**開設、糖鎖解析受託サービスを開始
- 2023年3月 産総研と**Glyco-BIST/LuBEA**に関する研究成果を発表
- 2025年7月 自動糖鎖プロファイリングシステム**LuBEA-VIII**を販売開始(研究用)

LuBEA-VIII



3-5. ODMの将来性



Bruker社の革新的な技術を搭載し、新規顧客を拡大

現在当社がELITech社(Bruker Group)向けにODM提供している全自動遺伝子検査装置2機種(Elite InGenius/BeGenius)にBruker社の「Liquid Array®」技術を搭載予定(時期未定)

- 「Liquid Array®」技術

次世代のマルチプレックス技術で、数十種類の細菌やウイルス、寄生虫等を一回のPCR検査で「同時に検出」することが可能

- 利用環境

緊急病院・救急外来など短時間で総合診断が必要な人命関連領域
→現行装置の設置先とは重複せず、新たな市場を開拓

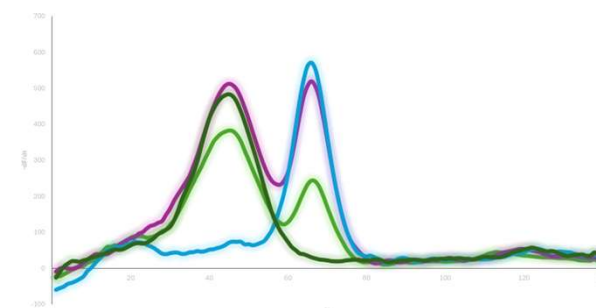
- 医療的意義

病原体の遺伝子変異に基づく薬剤耐性を見極め
→適切な治療選択を支援、救急医療の成果向上に貢献

- 市場拡大の原動力

高マルチプレックスの迅速検査×「Sample to Result」の自動化装置による独自優位性
→新規顧客セグメント参入で装置出荷台数の大幅増を見込む

*Liquid Array®はBruker社傘下のHain Lifescience GmbH開発技術



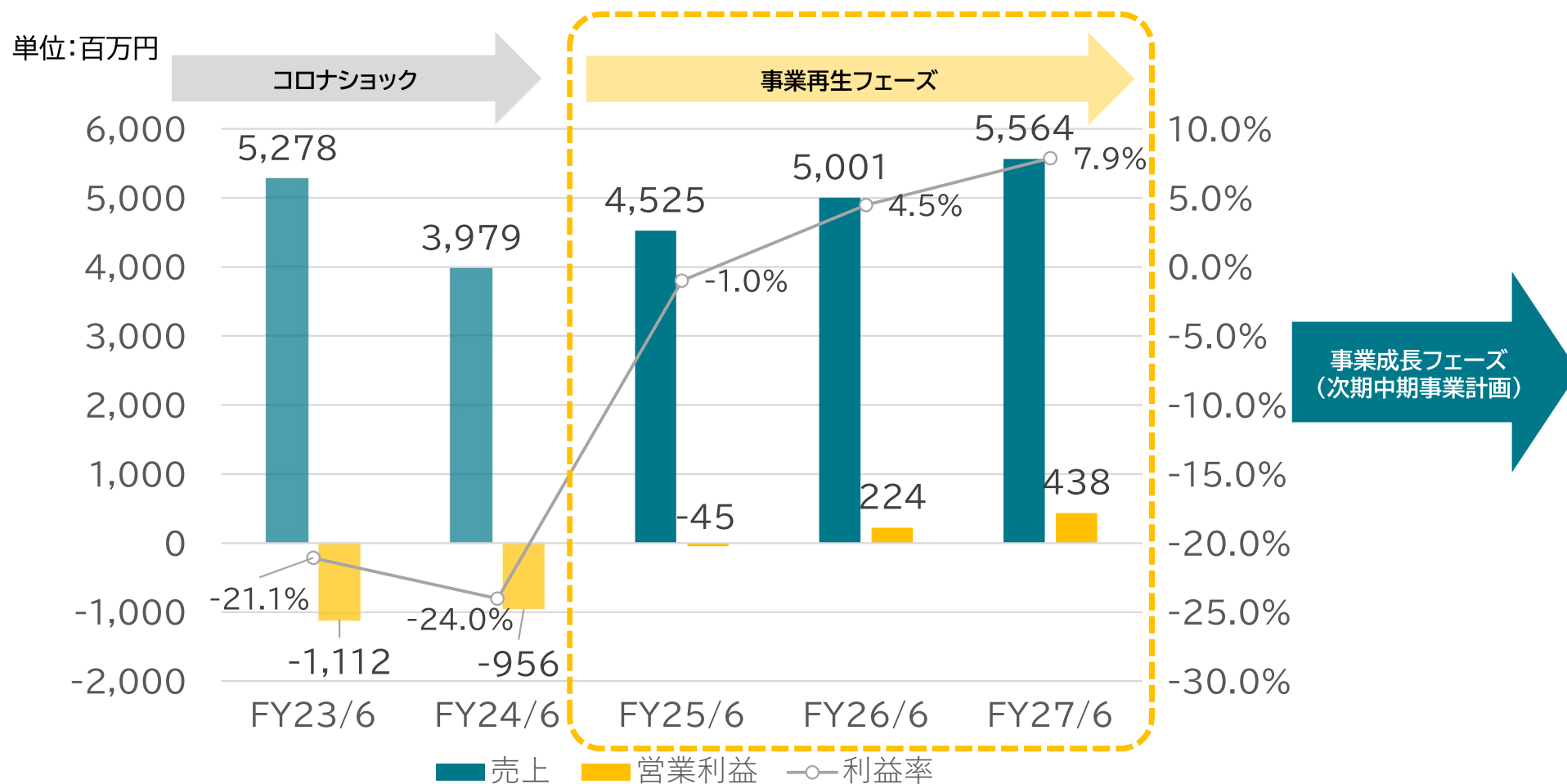
*解析データイメージ

4. 事業計画

4-1. 中期経営計画(2025年6月期～2027年6月期)



当該期間を「コロナショック後の事業再生フェーズ」と、抜本的な構造改革を推進し収益体質への転換をはかり、事業成長の基盤を再構築します

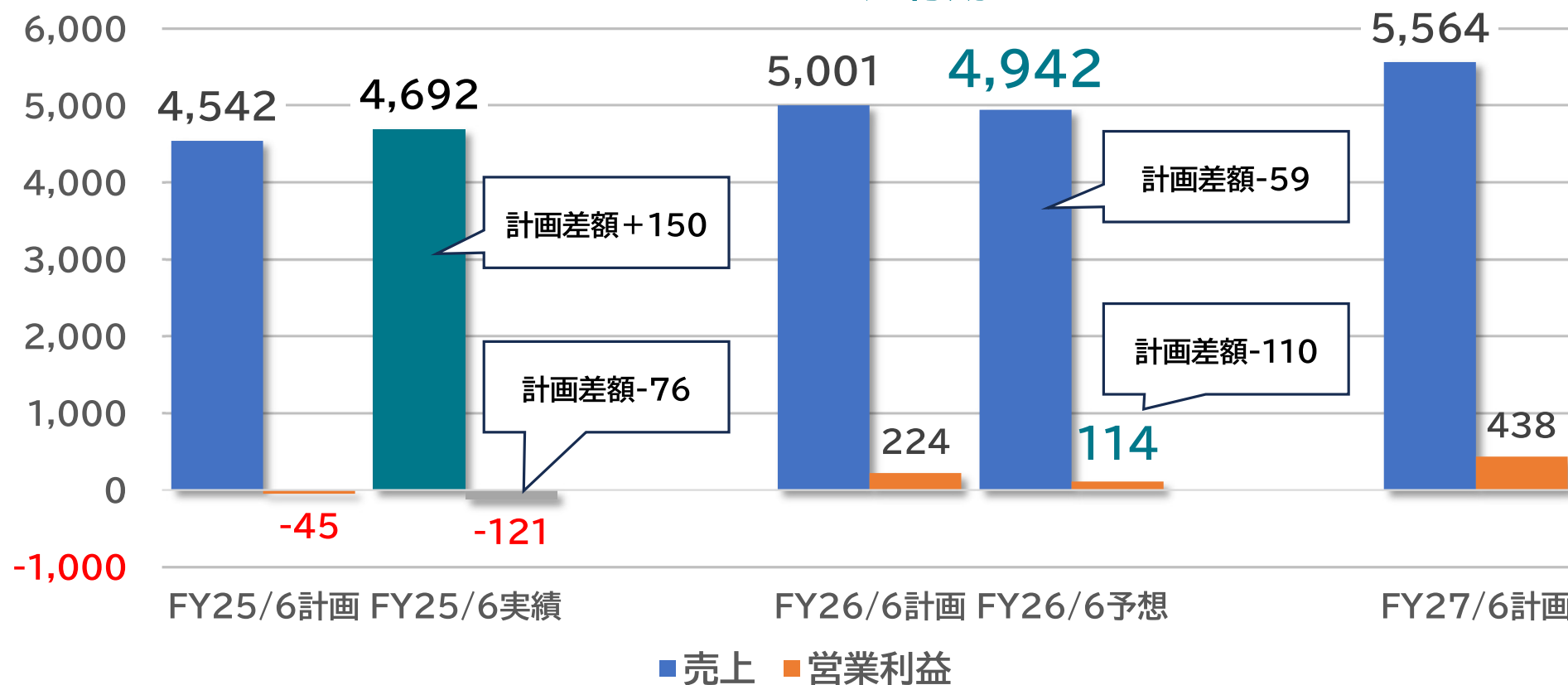


4-2. 中期経営計画の達成状況(前回計画の見直し)



単位：百万円

進行期

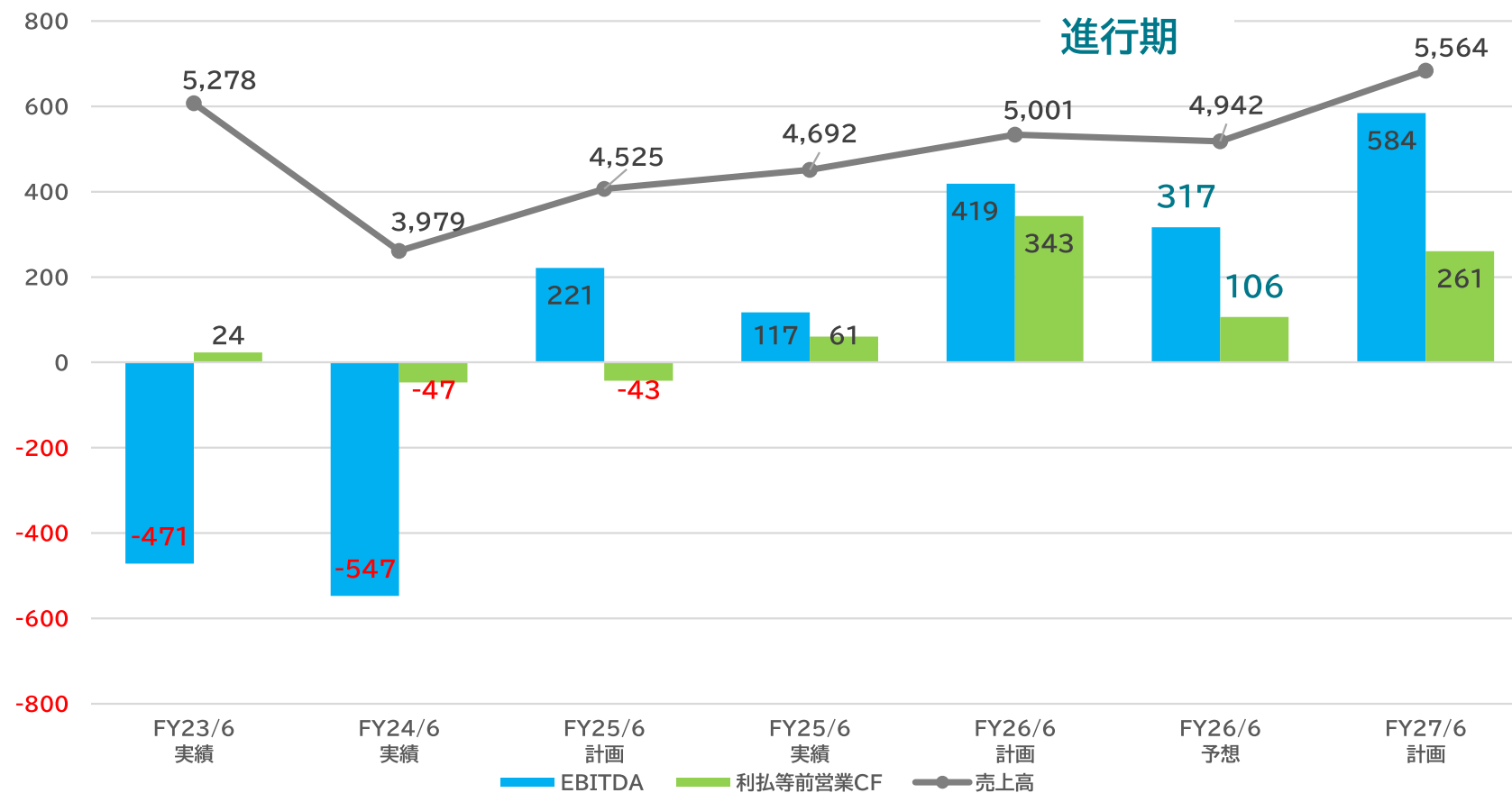


- 2025年6月期 : 売上達成するも、不良在庫の棚卸資産評価損、子会社ソフトウェア不正使用関連費用等により利益未達
- 2026年6月期 : 前期同様、売上は概ね達成見込、利益は下回る予想
- 2027年6月期 : 引き続き計画達成を目指す

4-3. 営業キャッシュフロー(前回計画の見直し)



単位：百万円

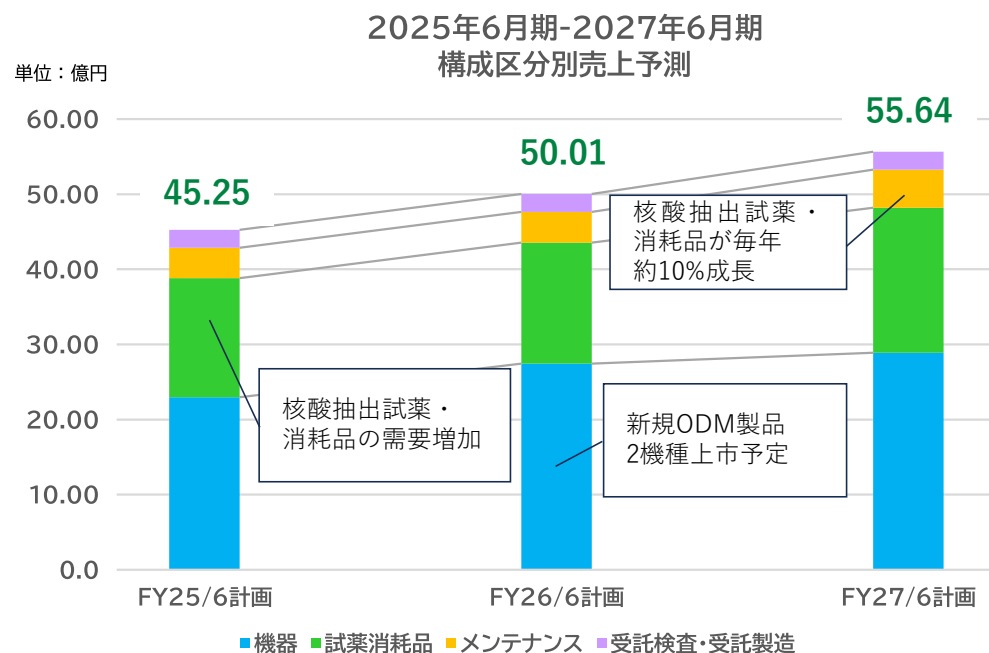


- 2025年6月期 : EBITDAが黒字化し、棚卸資産の圧縮も進んだことで、営業CFがプラスに転換
- 2026年6月期 : 売上増により売掛金・在庫が増加し、営業CFは当初計画よりやや減少
- **2027年6月期 : 引き続き計画達成を目指す**

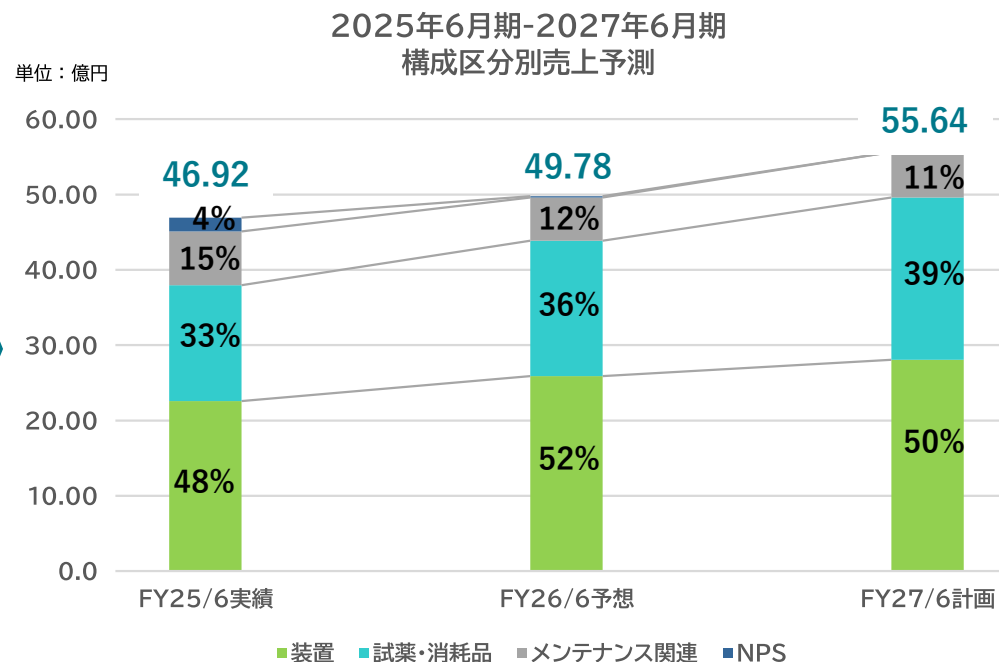
4-4. 構成区分別売上予測(前回計画の見直し)



2024年9月30日時点計画



2025年9月29日更新



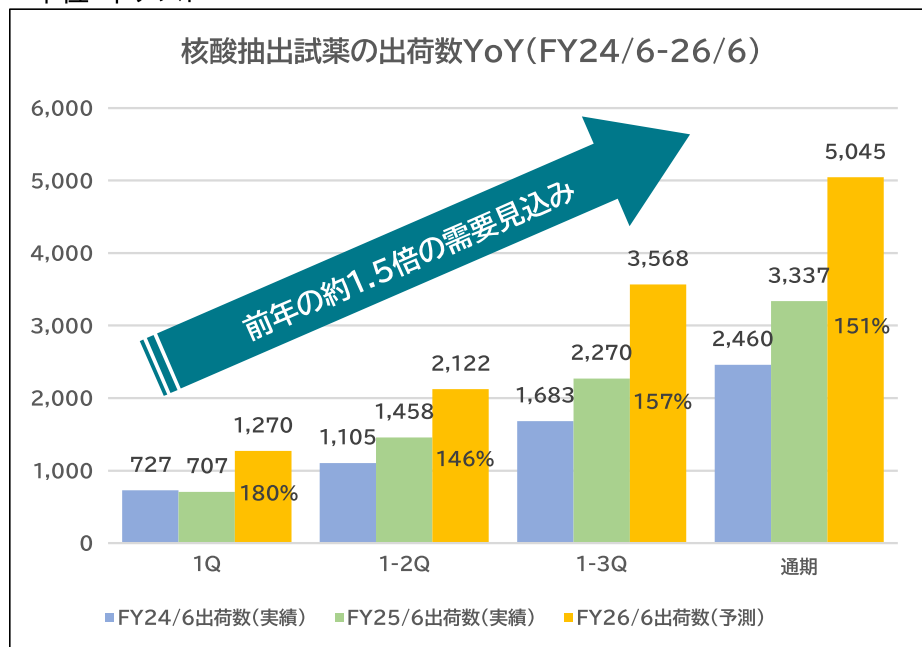
計画変更の主要因

- NPS合併化により、2025年10月より連結除外となり、**受託製造の売上が減少**
- PSSプラットフォームの出荷台数を**年間300台以上目標**
- PSSプラットフォームの出荷に伴い、**試薬・消耗品の売上構成比を年3%以上増加目標**

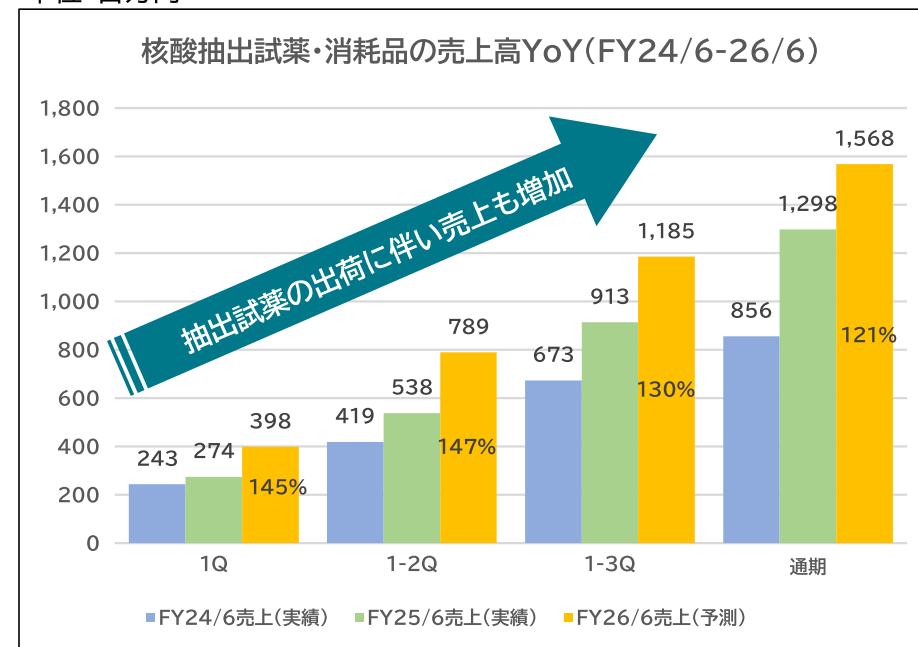
4-5. 核酸抽出試薬・消耗品の販売実績と予測



単位:千テスト



単位:百万円



※上記数値は、遺伝子検査向けプラットフォーム専用の核酸抽出試薬・消耗品のみを対象としており、その他の用途向け消耗品は含まれておりません。

- ELITechGroup向けのODM製品を中心に、核酸抽出試薬の出荷数が前年同期比で50%以上の増加見込み
- 核酸抽出試薬と付帯する消耗品の売上が前年同期比で20%以上の増加見込み
- 稼働率アップ、歩留まり改善により、さらに利益率向上を目指す

4-6. 抜本的な事業構造改革



■ PF・BioLine(フェローテックHD社との合併会社)の解散

- ・ 経営状況を鑑みた「選択と集中」の観点から、2024年12月11日に解散

■ 連結子会社UBRの株式譲渡完了

- ・ 経営状況を鑑みた「選択と集中」の観点から、UBRの全株式を田島秀二氏へ譲渡し、連結子会社から除外

■ 連結子会社PSS USAの解散

- ・ 経営状況を鑑みた「選択と集中」の観点から、2025年3月28日に解散を実行

■ 連結子会社NPSの吸収分割手続き開始

- ・ 堅調な試薬および消耗品製造事業（大館試薬センター）を会社分割により、2025年9月1日に継承予定、2025年7月1日に先行して事業運営統合済
- ・ PSS主導での工場運営による、増産体制の構築とコスト低減を実行
- ・ 吸収分割および合併化の妨げとなる、担保設定解除に伴う、ローンの弁済および資本政策の再構成

■ 連結子会社NPSのQuaero社との合併化に伴う投資契約書を締結

- ・ 経営状況を鑑みた「選択と集中」の観点から、Quaero Life Science社（中国）よりNPSへの出資を受け入れ、合併化する投資契約を2025年6月27日に締結

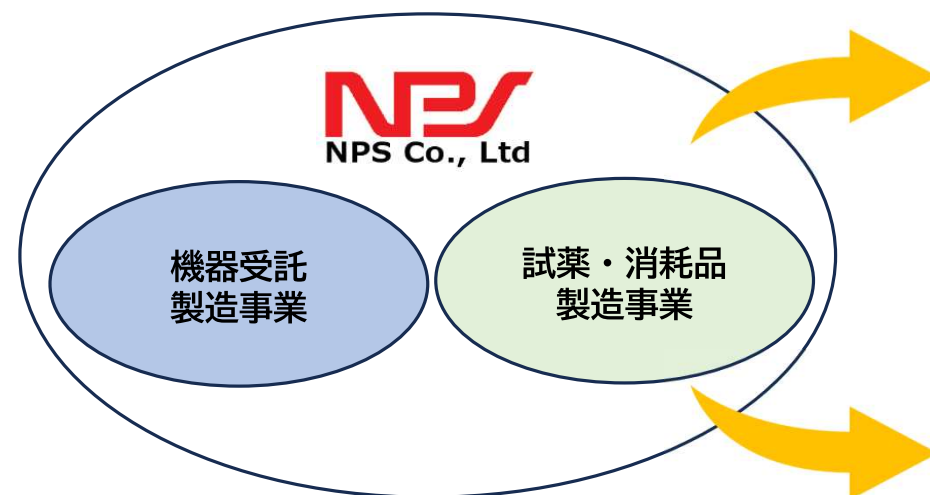
➤ 構造改革により収益体質への転換が進む

4-7. NPS事業再編～Quaero社との合併会社化



①再編背景

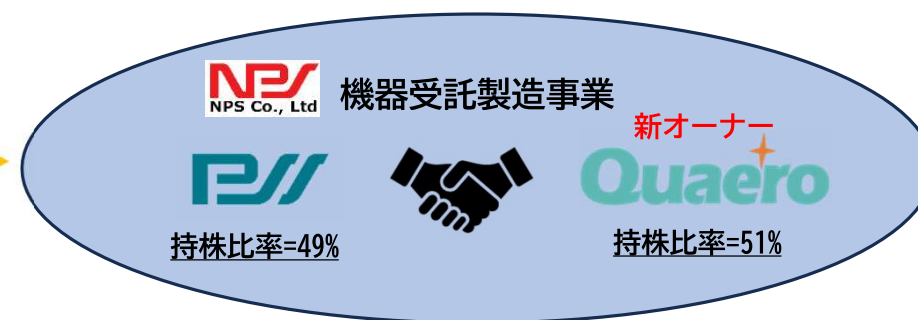
- PSS向け核酸抽出装置および外部向け装置用モジュールの受託需要が減少



- ELITechGroup向けのODM製品を中心に、核酸抽出試薬の出荷数が前年同期比で30%以上増加
- 核酸抽出試薬と付帯する消耗品の売上が前年同期比で50%以上増加

②Quaero社との合併会社化

- 9月末までにNPSの第三者割当増資を実行予定（完了後NPSはPSS持分法適用会社）
- 先行して7月1日よりQuaero社主導の新経営体制で運営開始
- 生産効率改善と海外向け装置生産体制を再構築



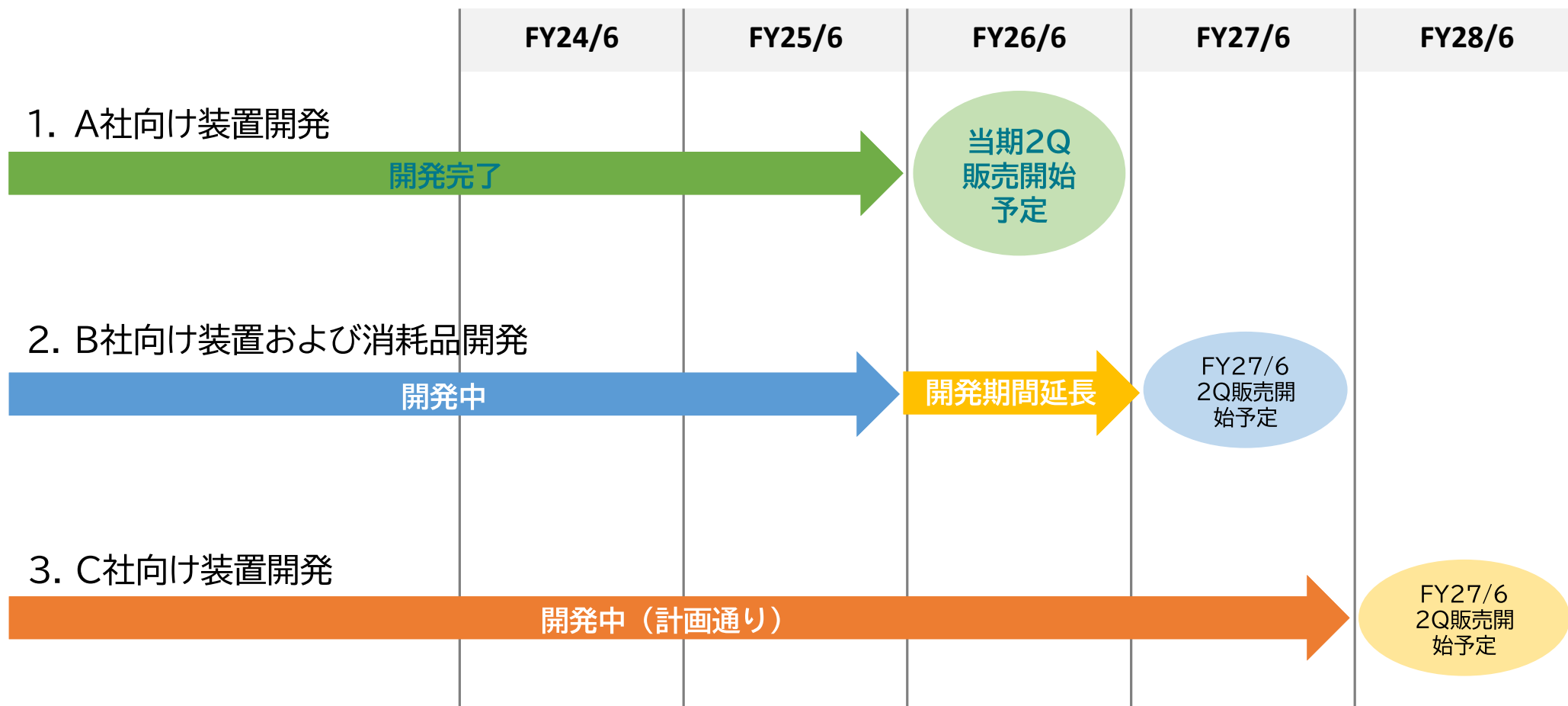
③試薬・消耗品製造事業を分割、PSSに吸収

- 9月末までに分割しPSSに吸収
- 試薬消耗品の原価改善と販売拡大を目指す

4-8. 新規ODM製品受託開発の推進状況



- B社向けODM装置は顧客判断により開発期間を延長（A社/C社は計画どおり）



4-9. IgA腎症用Glyco-BIST(試薬)開発状況



□開発進捗状況

■ =完了



腎症に係る糖鎖バイオマーカーの特定と権利化、 岡山大学（腎・免疫・内分泌代謝内科学）との共同研究

バイオマーカー： 疾患の診断や治療効果の評価に用いられる生物学的指標で、検体などから得られる遺伝子、タンパク質、糖鎖などが該当

- 測定する装置(LuBEA-VIII)の開発は完了
- 現在試薬(Glyco-BIST)の測定方法や性能、製品構成を確立するための基礎開発を推進中

➤ **2027年度の市場評価(研究用)、薬事申請を目指す**

5. リスク情報

5-1. リスクの認識と対策（事業等）



主なリスク	リスク対策	発生可能性	影響度	発生時期
ODM事業について： 当社グループの売上高構成のうち、ELITechGroup等のODM販売先への依存度が70％強（2024年6月期）と高くなっております。そのため、当社グループの業績は、ODM販売先の売上状況の影響を受けることが予測されます。	当社とELITechGroupは、ODM製品のより安定した生産と供給を実現するために、2024年7月～2029年6月の5年間を契約期間とするODM製品の中長期的な供給契約に合意し、契約期間中に総額70億円以上の発注がなされる予定です。このことを受け、大館試薬センターをはじめ、協力会社も含む各生産拠点の継続的な安定稼働と運営の効率化を見込んでいます。	中	大	中長期
自社ブランド製品事業について： 当社グループの自社ブランド製品事業は、国内外において装置、抽出試薬・消耗品、メンテナンス関連製品の販売を行っており、2024年6月期における売上依存度は30％弱となっております。これらの販売は、提携する現地代理店の販売実績に影響を受ける可能性があり、当該代理店の経営状況や販売戦略の変化によっては、当社グループの業績に影響を及ぼすリスクがあります。	当社は、営業力を有する代理店との提携強化や、販売見込みの精度向上に努めることで、売上の安定化を図ってまいります。	中	中	中長期
人材確保について： 当社グループは、バイオテクノロジー企業であり、競争力の維持のためにも専門的な知識・技能を持った優秀な人材の確保は必須であると考えております。しかしながら、人材確保が出来ない場合、必要不可欠な人材が社外に流出する状況になった場合、当社グループの事業戦略や業績に影響を及ぼす可能性があります。	当社グループでは、人材マネジメントポリシーを実践し、継続的な人材育成と人材の定着を図ってまいります。	低	中	中長期

5-2. リスクの認識と対策（財務・資金調達）



主なリスク	リスク対策	発生可能性	影響度	発生時期
資金調達について： 当社グループは、製品の上市、販売に向けた開発費用、設備投資、運転資金などの資金需要の増加に対応するため、資金調達を行う必要がありますが、資金が計画通りに調達できない場合には、当社グループの事業戦略や業績に影響を及ぼす可能性があります。	当社グループでは健全な財務体質を構築、維持に努め、安心できる財務体質を確保するとともに、最新の販売、生産計画と必要に応じた投資計画に基づいた資金計画の見直しを随時行ってまいります。	低	大	中長期
減損について： 当社グループは、様々な有形固定資産、技術資産等の無形固定資産を有していますが、事業環境の急激な変化に伴う生産設備の遊休化や稼働率の低下等により減損損失が発生し、当社グループの事業戦略や業績に影響を及ぼす可能性があります。	当社グループでは、最新の販売、受注情報に基づいた生産計画の見直しを随時行い、特に固定資産においてはこの適切な需要見通しに基づいた投資計画で実行してまいります。	低	中	中長期

免責事項および今後の開示



- 本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではなく、当社および当社グループの情報提供のみを目的として作成したものであり、将来についての戦略・計画・業績に関する予測と見通しを反映した記述が含まれております。
これらは、本資料作成時において、入手可能な情報に基づいた予想値であり、潜在的なリスクや不確実性が存在しています。
そのため、本資料に記載されている将来見通しが、実際の業績と大きく異なる場合があることを、ご了承おきいただきますよう、
お願い申し上げます。
- 本資料で公表しました成長戦略の進捗状況等を反映した改定につきましては、今後、2026年本決算の内容と分析結果を織り込んだ上で、2026年9月までに開示する予定です。

2025年9月29日

プレシジョン・システム・サイエンス株式会社

URL:<https://www.pss.co.jp>

(お問合せ先:IR担当)

電話: 047-303-4800

メール:ir@pss.co.jp